



「女性建築士の集いIN旭川」を終えて

稲場めぐみ（室蘭支部）

今年度の女性建築士の集いは、旭川にある北海道立総合研究機構（道総研）建築研究本部の施設「北方建築総合研究所」の見学を行いました。土別での全道大会翌日の10月7日、台風の余波で交通機関が乱れる中でしたが24名が参加し、北海道の建築、まちづくりに関する技術と研究開発について学ぶ有意義な時間となりました。

まずは庁舎の建設時の様子や概要がまとめられたDVDを視聴した後、道総研の松村さんと馬場さんの案内のもと、2グループに分かれ施設を見学しました。

研究所庁舎建物は、以下の3つの環境負荷低減技術を用いて建設されています。

1. 自然換気

風やアトリウム内の上下温度差による気流など、自然の力を活用した換気システムの導入により、換気動力エネルギー消費が削減されています。当日は、この温度差換気を体感。執務室の腰壁にあるガラリを開けた状態でアトリウムの天窓を開けると、ガラリからの給気量が一気にUPし、自然換気の威力を感じる事が出来ました。この換気システムを利用すると、夏でも午前中は冷房無しで過ごすことができるそうです。

2. 昼光利用

窓外側の庇や内側のライトシェルフを利用し、直射日光を拡散、反射光を利用するほか、アトリウ

ムからの自然光も活用することで、執務室の照明エネルギー消費が大幅に削減されています。日中の80%以上は人工照明いらずとのことで、気持ちの良い省エネが実現されていました。



昼光利用に配慮された執務室

3. 氷・雪冷房

厳冬期の冷たい外気により生成した氷と敷地内に降り積もった雪を保存し、夏季に外気を冷却し執務室に送風する冷房システムが導入されています。

また、研究所には室内環境シミュレーター室や風雪実験室など14の実験設備が備えられています。実験が休みとなる日曜日見学の特権！多くの設備を見せて頂くことができ貴重な経験となりました。



アトリウムでの集合写真

施設見学後は、レンガ倉庫群“蔵囲夢”内にある「大雪地ビール館」でランチを楽しみ、今年度の集いを締めくくりました。

建築・インテリアのプロが描くスケッチパース

～スケッチパースで絵会話を身に付けよう(初級&中級編)～

高見 友子（旭川支部）

一昨年、昨年と札幌で好評だったパースの講習会 飯田公久氏を講師に迎え、旭川で初めて開催しました。有料のため参加者数が心配でしたが、札幌支部や色々な方の協力もあって、函館支部や北見支部からの参加もあり定員いっぱいでの開催でした。手狭になった会場で作業スペースが確保できるか心配でしたが、飯田先生が机の配置を考えてくれて会員の協力で机配置を入れ替えてなんとかスムーズに開催できました。

2日間は、ほんとうに“目からウロコ”の連続で、自分でもこんなことができるのねーと思ったり、意外と物を見ているようで実は見ていないことに驚いたり（3回目の参加ですが何回やっても驚きます）思うようにならないこともたくさんあり頭も使って疲れましたが、楽しい内容でした。

2日目は、課題を完成させて都度先生が添削しながら実技も見せての丁寧な指導をしてくれるので、難しくても人より進みが遅くても、なんとか少しづつでも進めることができました。参加者も疲れましたが、先生は朝からずっと説明と指導で疲れたのでは？と心配です。アンケート結果では、次回も参加したいとの希望が多数でした。

また開催できると良いですね。



全員顔が見えるよう複雑な机の配置！